

-----5月4日-----

## 今週のアウトルック (5/4 ~ 5/8)

先週は見通しを誤ってしまいました。

原因としては4/29の大きな巻き返しにあると思います。

4/28までは円高トレンドを継続して、ドル円は95.5円を割る勢いだったと思います。ところが4/29が日本市場がお休みだったため、円安方向へ短期投機筋によって一気に踏み上げられてしまった感じです。

また29日からの急激な円安を考えれば5/1の金曜日は、ある程度ロンドン市場以降に利益確定やポジション整理による円高への動きがあってもよかったと思います。ところが逆に円安方向へ大きく動いてしまいました。これもEU市場の休場を狙った、短期投機筋の踏み上げ的な要素が強いように思います。

GW中は東京市場での取引が薄いため、このような短期投機筋主導による動きが起きやすい状態にあると思います。今週もしばらくはこの状況は継続するように思います。

基本的にはGW中は円安方向だと思いますが、取引の薄い時間帯を狙った円安、円高、どちらの方向へも一時的な大きな動きはあるように思います。

GW終了後は週末を控えて、利益確定による動きも考えています。ただ5/7のストレステストの結果やNYダウの動きに大きく左右されることは十分に考えられます。ストレステストの結果により、金融機関の脆弱性、特にシティバンクの資本不足が意識された場合には再び円高トレンドに戻ることも考えています。

ドル円は今週前半は、円安トレンドを継続する動きになると考えています。目先は99.5円を超えられるかどうかポイントになりそうです。早い時期にクリアしてしまえば、次に101.5円が意識されそうです。このポイントもクリアできれば104円から105円も意識されそうですが、今の状況だけでは105円を抜くことは難しいと考えています。

基本的には前半は102円超えあたりまでの動き、木曜日以降は利益確定などに押されて再び100円近くまで戻ることを想定しています。

ユーロ円は少しユーロ高トレンドに勢いが付いてきている感じです。134円を超えていけば、4月の高値の137円あたりを目指す勢いになってもおかしくないように思います。

週前半は137円あたりまでの上昇、後半は利益確定などに押されて、134円あたりまでの調整はありそうです。

ただ、5/7のECB政策金利の発表は意識されることはあるように思います。ネガティブな情報が飛び込んできた場合には、一気に冷やされてしまう可能性も考慮しておく必要があるように思います。

ポンド円はGBPUSDが1.49を再び抜けたことにより、上昇トレンドに少し勢いがついた感じです。150円台から4月の高値の151.5円あたりを目指す勢いに

なってもおかしくないように思います。ただそれ以上の上昇はドル円の動きにも左右されそうで、難しいようにも思います。週前半は151円あたりを目指す勢い、週後半は145円あたりまでは調整することも想定しています。ただ、こちらも5/7のBOE政策金利の発表が意識され、ネガティブな情報には注意する必要があるように思います。

全体的にはGW中とGW後には少し違った動きになることも考えています。ECB、BOEの動きとともにストレステストの結果次第では大きくトレンドも変わってしまうことも考えられます。

また、ストレステストの結果を予測するような情報にも、振り回されてしまう状況も考えられますので注意する必要があると思います。

**\* 免責事項 \***

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。